

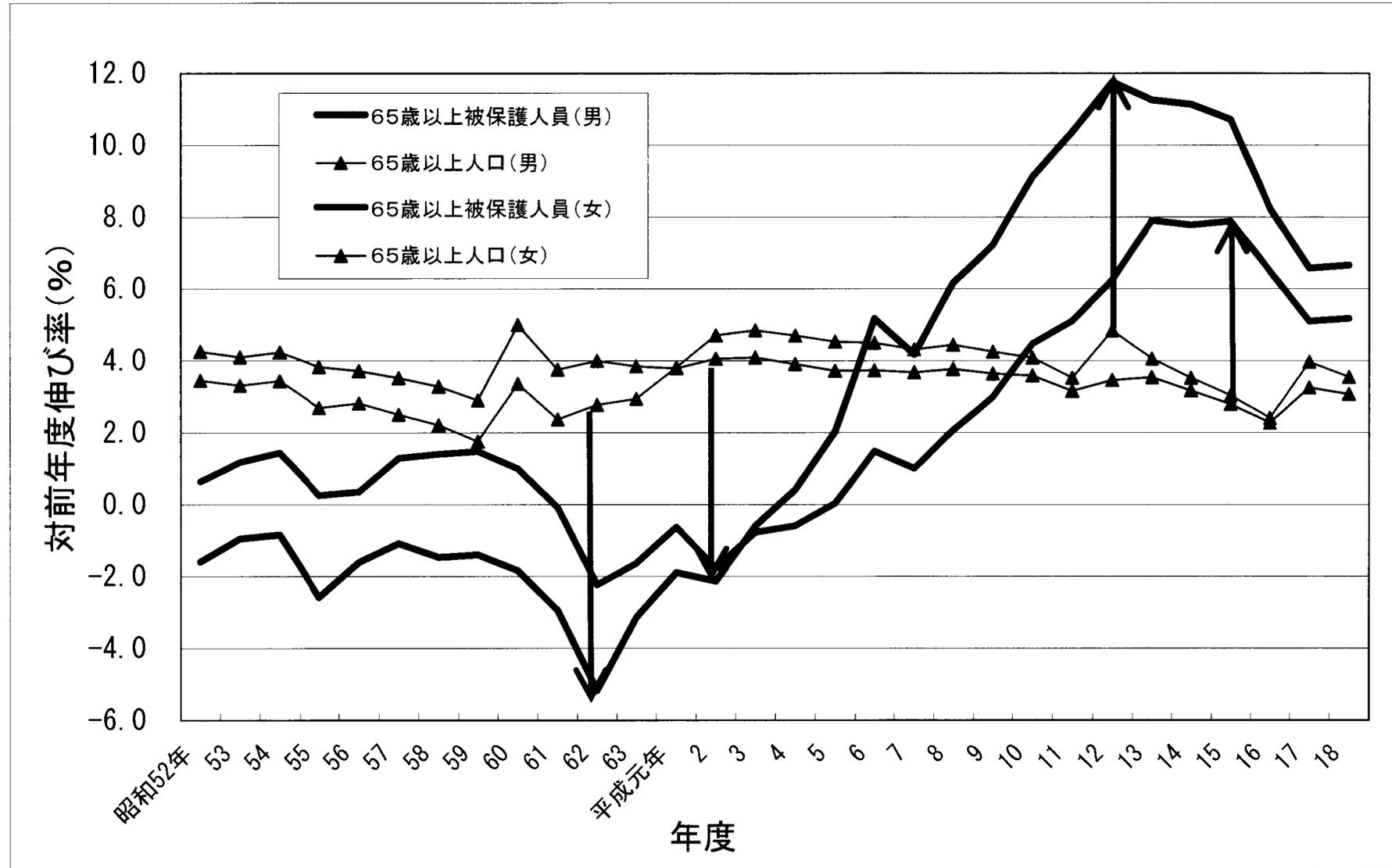
# 生活保護の現状(2)

平成 20 年 4 月

厚生労働省社会・援護局

# 65歳以上の人口の伸び率と被保護人員の伸び率の年次推移

◎人口の伸び率は安定しているが、被保護人員の伸び率は変動が大きい。  
その差は保護率の伸び率である。



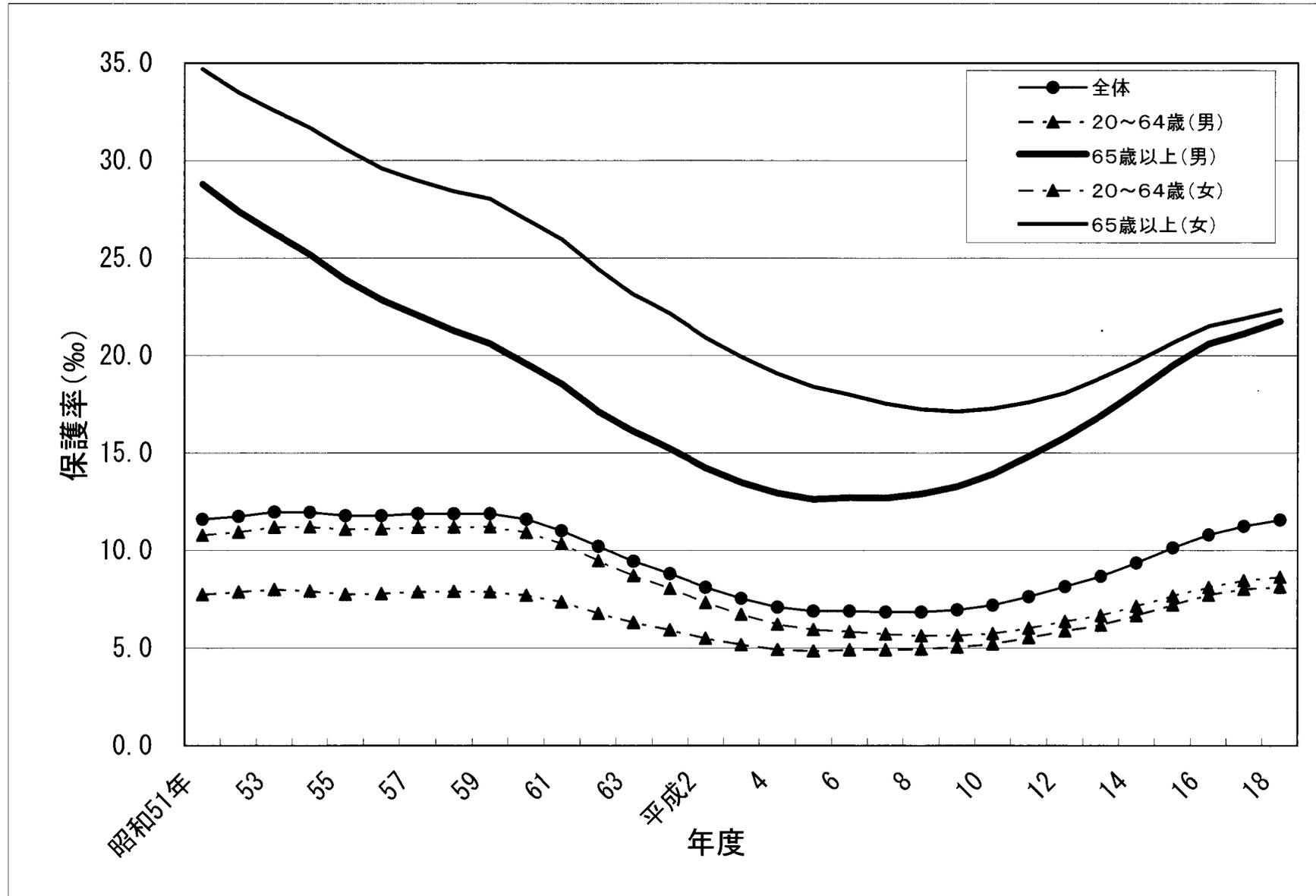
注1: 被保護人員の伸び率 = 人口の伸び率 + 保護率の伸び率

注2: 矢印は保護率の伸び率の影響を示す。

資料: 被保護者全国一斉調査、人口推計(総務省)

## 性別・年齢階層別保護率の年次推移

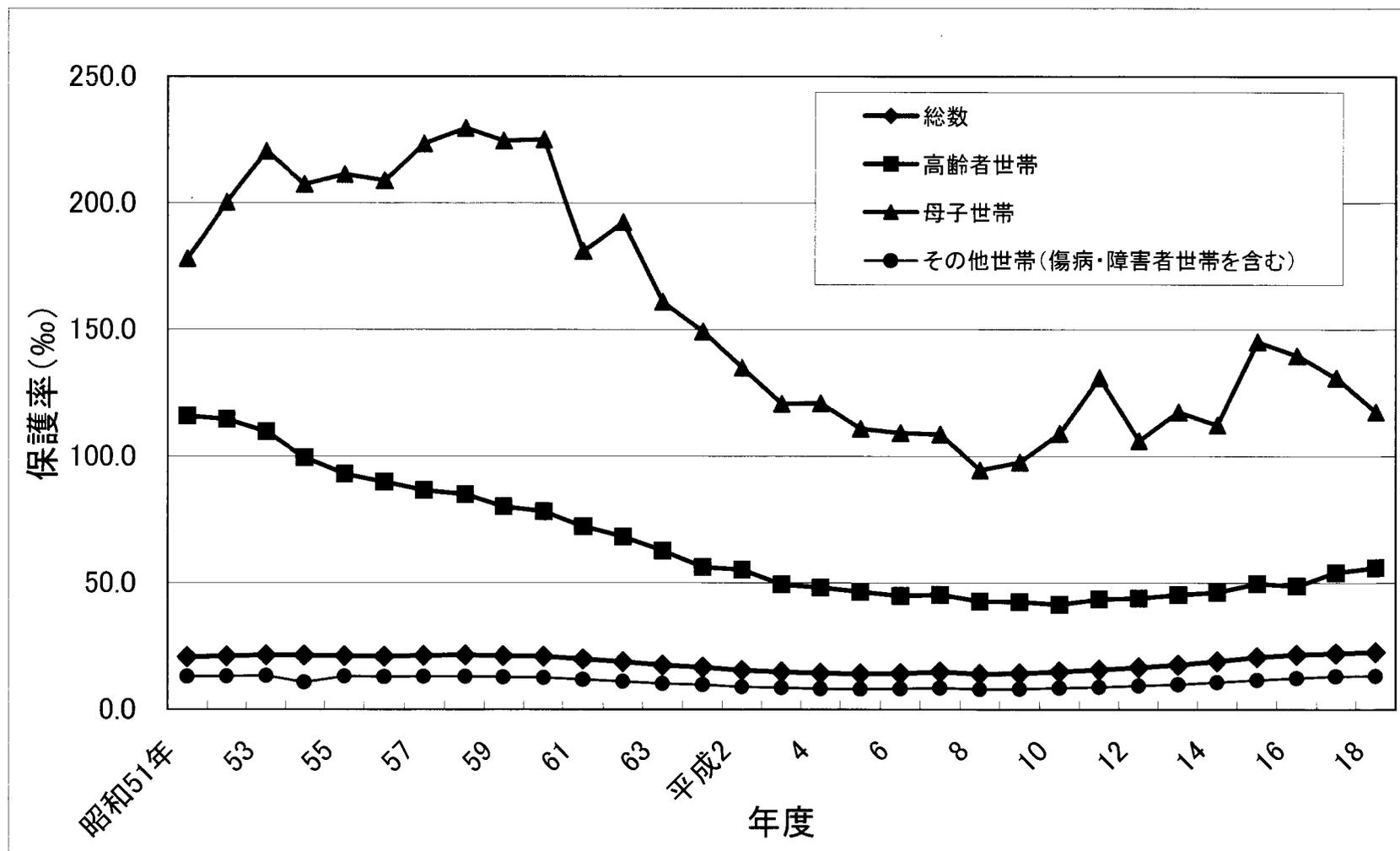
◎昭和51～60年度の間、全体の保護率は横ばいだったが、65歳以上の保護率は減少してきた。  
昭和61年度以降、全体の保護率と65歳以上の保護率の傾向はほぼ同様となっている。



資料：被保護者全国一斉調査、人口推計(総務省)

## 世帯類型別世帯保護率の年次推移

◎高齢者世帯の世帯保護率は平成10年度まで減少傾向であったが、平成11年度以降緩やかな増加傾向となっている。



注:平成17年度より世帯類型の定義を一部変更  
 (高齢者世帯は男65歳以上、女60歳以上から男女とも65歳以上に、  
 母子世帯は18歳以上60歳未満の母から65歳未満の母に変更)

資料:福祉行政報告例、国民生活基礎調査